



モニュメントがある商店街のポケットパーク

た。しかし、「ユニオン通り商店街」は、現在、ファッション関連のセレクトショップや美容室、家族的な雰囲気のレストラン、カフェ等の個性豊かな店舗が集まっている。また、ライブハウスやケーブルテレビ局も立地的な店舗が見られるなど、

ある伝馬町、西一丁目には、江戸時代には武家屋敷が連なり、宇都宮城に係る城下町の一角を形成していた。また伝馬町は、日光道と奥州道の追分であったことから、かつては本陣・脇本陣が置かれ、もとより人や物が交流する場としての歴史を有していた。

また、フリーマーケットの開催など、地域住民も巻き込んだ各種イベント実施などの商店会活動も活発であり、周辺環境と調和したコミュニティ

今年5月に市中心市街地において、都心型の大型ショッピングセンターが閉店し、客足の流れ等、周辺環境への影響が懸念されている。しかし、「ユニオン通り商店街」は、現在もなお進化の過程にある魅力ある商店街として注目されている。魅力ある街が人や物を自然と引きつけるので、今後も市中心市街地の人口増や活性化に寄与し、長期にわたり持続可能なまちづくり

（宇都宮支所／不動産鑑定士・永井正義）

「ユニオン通り商店街」は、JR「宇都宮」駅の西方約2キロに位置し、東西約400メートルの直線型の商店街である。昭和27年に結成された商店街であり歴史は古く、東武宇都宮線「宇都宮」駅（東武百貨店）を介して、宇都宮市最大のアーケード型商店街である「オリオン通り商店街」に通じ、宇都宮市中心市街地の一角を形成し、現在、飲食、ファッション等の約80の各種店舗等が軒を連ねている。

情報・文化を発信

モータリゼーションの急激な進展に伴い、宇都宮市の人口・商業等は、宇都宮市中心部からその周辺や郊外部へ分散し、中心市街地は、顧客通行量の減少が顕著で、旧来からの商店街は、経営者の高齢

～文化的歴史的所産を巡る～

# 残したい情景

第17回 栃木県宇都宮市



一般財団法人 日本不動産研究所

し、若者向けの情報や文化を発信する街として、若者だけでなく大人やファミリーも集い、広域的に集客する個性的な商店街として知られている。今日まで旧来型の商店街とは異なる地域的な特性が形成されてきた。

「ユニオン通り商店街」の助による経

## 空き店舗への出店に補助金 個性あるアーケード街に再生

### 大型店が閉店

ティとしての一体感が感じられる魅力ある商店街となっている。



電線地中化など景観整備も進むユニオン通り商店街